



「シルバー・ニューディール」実現へ

助成制度創設など提言

と大東産業競争力懇

東京大学政策ビジョン研究センター(センター長 森田朗東大教授)と産業競争力懇談会(COCN、勝俣恒久代表幹事 東京電力会長)は、「シルバー・ニューディール」を通じた新たな社会づくりを求めた提言を15日に取りまとめる。安心して暮らせる健康長寿社会の実現に向け、「ソーシャル・イノベーション」の重要性を指摘。政府が「新成長戦略」の中で打ち出した「ライフイノベーション」による健康大国戦略」の具体的な方向性を示している。「高齢者標準社会基本法」の制定や国による新技術や新サービス創設に対する助成制度創設などを求め、今後、政府・与党への働きかけを本格化する方針。

東大とCOCNは15日に提言を公表、3月9日に経団連会館で開かれる「COCNフォーラム」で発表する予定だ。提言ではシルバー・ニューディール実現に向け13のアプローチを明記した。ソーシャル・イノベーションを阻害する要因としては①新たな社会インフラへの投資不足③社会システムに関する実証実験の機会

不足などを指摘。シルバー・ニューディールを進める具体策としては①「アクティブ・エイジング都市・生活モデル」の先進都市の創生②新技術・アイデアの社会受容を促す制度創設③高齢化社会ニーズへの対応力を高めるため、新サービスや新技術の実証実験に対する国の助成制度創設などを提言している。

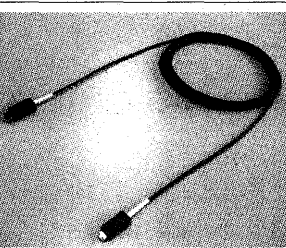
これらの対策をより迅速かつ確実に遂行するため、「高齢者標準社会基本法」の制定を提言。インフラや社会システムの基準や規制を高齢者標準に一体的に改めることを規定するほか、ワンストップの推進拠点設置などを法的に定めることを求めている。このほか、「高齢者専用のパーソナルカーの開発と交通安全規制の見直し」、「バリアフリー住宅の供給と住宅・福祉政策によるインセンティブ」、「健康医療情報と在宅における医療福祉サービス」など個別具体策が盛り込まれている。

光配線ケーブル、電子機器向け

来年度 フジクラ、電子機器向け

フジクラは2010年度中に電子機器用光配線ケーブル(写真)の量産に乗り出す。電気信号を光信号に変換し伝送する。従来の金属ケーブルと比べ、直径を60%細くして

成について産学が協働することはわが国では極めて珍しく、新たな産学連携のモデルケースとして注目されていた。今後両者は政府・与党などへの働きかけを強め、政策実現を目指していく。



PC造と鉄骨造

大和ハウスが

大和ハウス工業はプレストレスト・コンクリート

10棟、売上高200億円を目指す。

も同じ伝送容量でノイズの影響も受けにくい。柔軟な配線設計と高速伝送が可能で、機器の小型化、軽量化に貢献する。15年度までに売上高で100億円の事業に育成する。佐倉事業所(千葉県佐倉市)で、既存のケーブル製造機とともに、プラグに搭載するフォトダイオードとレーザーダイオードの微細実装専用機を稼働させて量産する。初年度のケーブルの生産能力は月産1万本程度。受